

ごあいさつ

会長 岡田 淳子（県立広島大学保健福祉学部）



このたび、日本看護研究学会中国・四国地方会の会長を拝命いたしました。大きなプレッシャーを感じつつ、役員の協力を得て責務を全うする決意であります。まことに微力ではございますが、会員の方々のご助言、ご協力をあおぎながら学会の発展のために専心努力をいたす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍が世の中に与えたインパクトは大きく、本学会でも全国大会をはじめ、各種事業やイベントがオンライン開催になるなど、学会活動にも大きな変化がありました。また、自然災害による甚大な被害を受けたり、国際情勢に伴う緊張が続いたり、将来への不安を抱えながら、新しい時代に向かって劇的な変化が起きています。

このような変革の時代には、人の意識や考え方、生活そのものに大きな影響を及ぼし、新たな問題や課題が発生します。看護者は人が健康に豊かに生きることを支える使命があり、これらの課題を解決するために看護学研究が果たす役割はますます重要になります。本学会は、あらゆる場の看護実践に根差した学術研究を推進し、ケアの質の向上と役割が拡大する看護の専門性を追求することを支援します。そして、どのような状況下でもエビデンスに裏付けられた看護が展開できることを目指したいと思います。

会員の皆さまと一緒に魅力ある地方会を創造し、人の生活や社会に大きく貢献できる中国・四国地方会となるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第35回学術集会在鳥取でWEB開催されました

実行委員長 鳥取看護大学 内海 知子

第35回日本看護研究学会中国・四国地方会学術集会「地域包括ケアの実践と検証」を令和4年3月6日から3月20日までWEB開催しました。

開催方法をどうするのか、前回はWEB開催であったことから会場開催あるいはハイブリッド開催の道を残したかったのですが、COVID-19の流行動向が見通せず10月時点でWEB開催に舵をきりました。参加者数は372名（会員115名、非会員24名、学生233名）、一般演題30、学生演題55でした。多くの学生参加の背景には、県外での研修ができないことから、この学術集会を研修に位置づけて参加して下さったところもあったようで、COVID-19は学生の皆さまに新しいチャンスを与えたのではないかと思います。

教育講演は「看護の未来を創造するアクションリサーチ—人々とともに・人々のために—」（筒井真優美先生）、特別講演は「看護の質を高めるリフレクション」（東めぐみ先生）でした。ともに60分という短い時間でしたが、より良い看護実践へと向かう道標となる内容であり、希望を感じることができる講演でした。また、学術委員会企画の学術セミナー「調査票の作成」（小川佳代委員長）も3年ぶりの開催でした。

シンポジウム「地域包括ケアの実践—その未来と希望—」では、開催地である鳥取県倉吉市と周辺の三朝町（温泉で有名です）・湯梨浜町（はわい温泉や東郷温泉があります）・北栄町（大栄スイカが有名です）、琴浦町（HPによると小さいくせに全部ある惑星です）で形成する中部圏域での実践とその経緯を報告していただきました。ここには、小さい圏域を逆手に取り、日常的な「顔の見える関係」から作られ根を張ったネットワークがあり、そこから何らかのエッセンスを拾っていただくことを期待したものでした。

本学術集会は、前任の実行委員長小村三千代先生が敷いてくださったルールを進み、学術集会閉会という終着駅に無事到着することができました。地方会の学術委員会の先生方はじめ、会員の皆さまのご支援によるものと思っています。紙面をお借りして皆さまに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

●令和3年度事業報告●

1. 会員数

令和3年4月1日時点 843名

2. 第35回学術集会開催

実行委員長：内海 知子 先生（鳥取看護大学）

開催期間：令和4年3月6日（日）～3月20日（日）

開催方法：Web 開催

テーマ：地域包括ケアの実践と検証

演 題：85 演題（一般 30 演題、学生 55 演題）

3. 令和3年度総会開催

日 時：令和4年3月20日（日）

開催方法：Web 会議

4. 委員会報告

1) 運営委員会

- (1) 第1回運営委員会会議 令和3年8月21日（土）、ZoomによるWeb会議
- ①第34回学術集会（広島）の結果について報告された。
 - ②学術委員会の活動について報告があった。
 - ③広報委員会の活動について報告があった。
 - ④運営委員選挙について説明があった。
 - ⑤第35回学術集会の準備状況について報告があった。

(2) 第2回運営委員会会議

令和4年3月13日（日） ZoomによるWeb会議

- ①令和3年度事業報告

②次期運営委員について

③令和3年度会計報告、監査報告

④令和4年度事業計画案

⑤令和4年度予算案

⑥今後の学術集会について

2) 学術委員会

- (1) 第1回学術委員会会議を令和3年8月21日（土）運営委員会終了後に開催した。
- (2) 第35回学術集会（鳥取）において、特別セミナー「調査票の作成」を企画し・運営した。

3) 広報委員会

- (1) 令和3年度ニュース・レター No.29 を9月に発行し、住所不明者を除く会員848名に送付した。

4) 選挙管理委員会

- (1) 令和3年8月23日（月）に運営委員会選挙を公示し、公示文書を全員に郵送、10月1日（月）正午から11月1日（月）23:59までを投票期間としてウェブサイトによる選挙を実施した。10月1日、15日、29日に投票督促メールを一斉配信した。
- (2) 投票率は24.5%で前回17.0%より7.5ポイント増加した。
- (3) 本会の評議員の決定（2022年1月）を待って、当選者、次点者を確定し、会長に提出した。

●令和3年度会計報告●

【収入の部】

（単位：円）

費 目	令和3年度予算	令和3年度実績	差異
前年度繰越金	419,239	419,239	0
地方会補助金	439,500	421,500	- 18,000
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
オンライン選挙事務費用	420,000	390,871	- 29,129
雑収入	6	6	0
合 計	1,578,745	1,531,616	- 47,129

●令和3年度会計報告●

【支出の部】

（単位：円）

費 目	令和3年度予算	令和3年度実績	差異
事業費	20,000	25,300	5,300
郵送費	110,000	112,392	2,392
事務費	15,000	25,844	10,844
人件費	15,000	17,000	2,000
各種委員会活動費	70,000	0	- 70,000
印刷費	110,000	100,064	- 9,936
学術集会支援金	150,000	150,000	0
学術集会準備金	300,000	300,000	0
オンライン選挙事務費用	420,000	390,871	- 29,129
予備費	3,745	0	- 3,745
次年度への繰越金	365,000	410,145	45,145
合 計	1,578,745	1,531,616	- 47,129



●令和 4 年度事業計画●

1. 令和 4 年度総会開催

日 時：令和 5 年 3 月 19 日（日）

場 所：Web 開催

(2) 第 2 回

日 時：令和 5 年 3 月 運営委員会終了後～

場 所：Web 開催

2. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第 1 回

日 時：令和 4 年 8 月 28 日（日）12:00～13:00

方 法：学術集会の開催方法に合わせて

(2) 第 2 回

日 時：令和 5 年 3 月（日時は調整の上決定）

方 法：Web 開催

2) 学術委員会

(1) 第 1 回

日 時：適宜メール会議

3) 広報委員会

(1) 令和 4 年度ニュース・レター No.30 を 9 月に発行、会員約 1000 名に送付する。

(2) 第 1 回

日 時：適宜メール会議

(3) 第 2 回

日 時：令和 5 年 3 月 運営委員会終了後～

場 所：Web 開催

●令和 4 年度予算●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	令和 3 年度実績	令和 4 年度予算案	差異
前年度繰越金	419,239	410,145	- 9,094
地方会補助金	421,500	421,500	0
学術集会準備金返金	300,000	300,000	0
オンライン選挙事務費用	390,871	0	- 390,871
雑収入	6	6	0
合 計	1,531,616	1,131,651	- 399,965

●令和 4 年度予算●

【支出の部】

(単位：円)

費 目	令和 3 年度実績	令和 4 年度予算案	差異
事業費	25,300	20,000	- 5,300
各種委員会活動費	0	35,000	35,000
学術集会支援金	150,000	0	- 150,000
学術セミナー支援金	0	150,000	150,000
学術集会準備金	300,000	0	- 300,000
印刷費	100,064	110,000	9,936
郵送費	112,392	115,000	2,608
人件費	17,000	17,000	0
事務費	25,844	25,000	- 844
オンライン選挙事務費用	390,871	0	- 390,871
予備費	0	0	0
次年度への繰越金	410,145	659,651	249,506
合 計	1,531,616	1,131,651	- 399,965

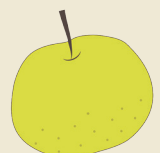
●委員会より●

【広報委員会】

令和 4 年、ニュースレター No.30 をお届けします。

まだ先の見えないコロナ禍が続いていますが、広報では今後地道に会員の皆様へ必要な情報を発信していきます。

(委員長：佐伯由香)



一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会 2022 年度学術セミナーのご案内

新涼の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

中国・四国地方会では、令和 4 年度学術セミナーを下記の要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

令和 4 年度の学術セミナーのテーマは「量的研究論文より統計結果を読み解く」です。昨年度（令和 3 年度）の学術セミナー「調査票の作成」の内容に繋がるように検討いたしました。

令和 4 年度学術セミナーは、中国・四国地方会学術集会が開催されないことや新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンデマンド配信とさせていただきます。

ぜひご受講いただき、会員の皆さまの研究活動を発展させる機会としていただければ幸いです。

学術委員長 市原多香子（香川大学医学部看護学科）

■プログラム

テーマ：「量的研究論文より統計結果を読み解く」

講 師：宮武 伸行 先生（香川大学医学部衛生学准教授）

開催方法：WEB 受講（オンデマンド配信）60 分

配信期間：2023 年 3 月 4 日正午～2023 年 3 月 31 日正午

定 員：人数制限なし

受講対象者：日本看護研究学会 中国・四国地方会 会員

参加費：無料

<受講について>

申込者には、お申込み確認後に、受講サイト
URL とパスワードをメールでご案内いたします。
配信期間中は何度でも視聴できます。

【参加申し込みについて】

申し込みの具体的な方法は、追ってホームページにて掲載します。
参加申込は、中国・四国地方会のホームページ
(<https://www.jsnr.or.jp/district/chugoku-shikoku/>)
の開催案内ページ「受講申込」ボタンから申込ページにお入りください。

<講師紹介>

1993 年 3 月に岡山大学医学部医学科を卒業し、内科医（糖尿病、腎臓病）として経験を積まれました。2009 年 8 月からは現職である香川大学医学部で、疫学、統計、産業保健、環境保健等の講義を担当されています。また看護学科でも統計学の講義を担当されています。研究面では、臨床現場からの前向きな疑問を解決するということをモットーに、生活習慣病予防改善のための身体活動や座位行動の意義についての研究を中心に取り組まれています。



宮武伸行先生



一般社団法人日本看護研究学会 中国・四国地方会学術委員会

<お問い合わせ>

令和 4 年度学術セミナー事務局 有限会社ブログル nr-chuchi-seminar@gmail.com

香川大学医学部看護学科 2022 年度学術セミナー担当 市原・松本・渡邊

発 行 〒723-0053 広島県三原市学園町 1 番 1 号 県立広島大学保健福祉学部看護看護学コース内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 会長／岡田淳子 広報委員長／佐伯由香